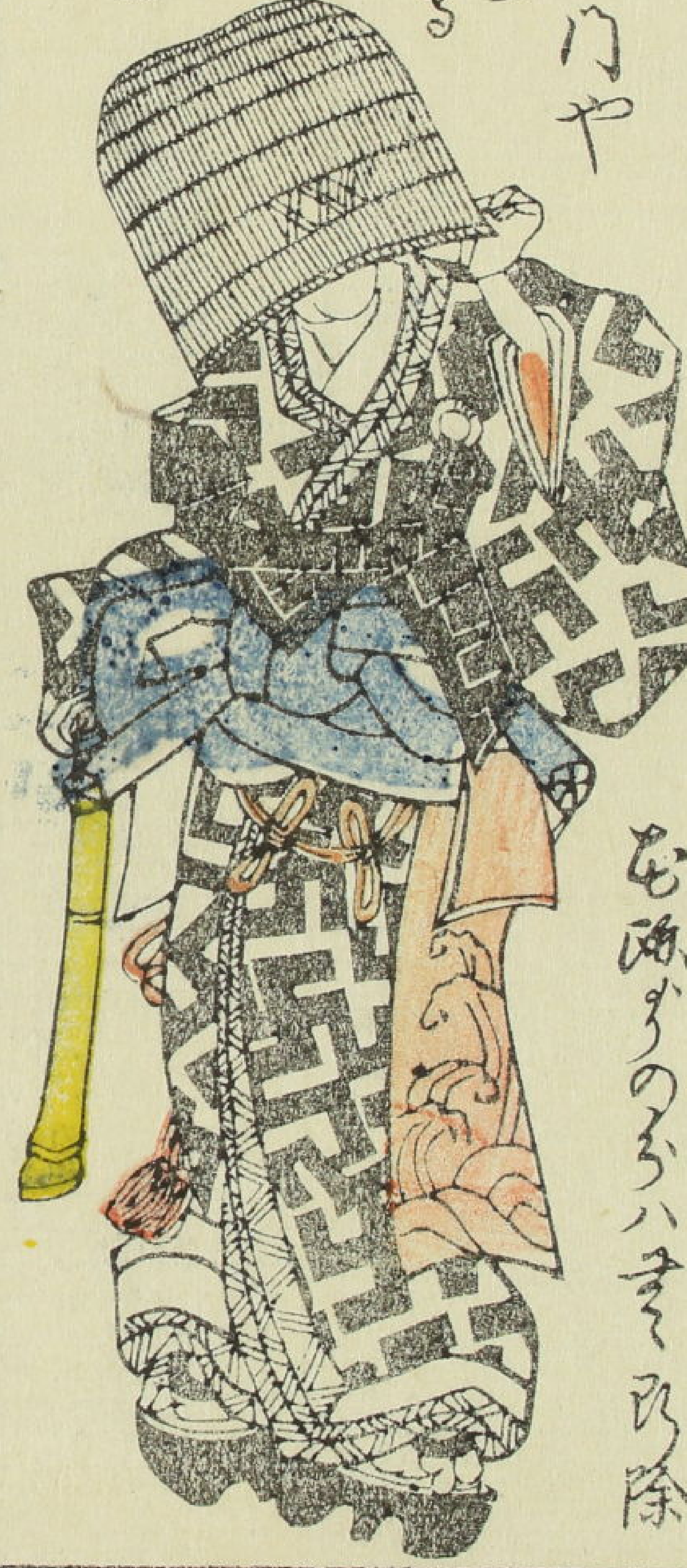
忠臣蔵見立画像句合

四季乱吹句吐　入花四十八文

当所よりのもの八重取除

虚無僧の
千門や
秋りしき
何悵りもなき
あんまの
すゞしく

有杷庵



	天	地	人
太白堂評	七部集全	硯	五人、大土瓶
椎草庵評	山之井全	菓子皿	人
錦楓楼英史、	風流案景	、	人、
金睡会一瀬、	湯呑十ヶ	、	人、
山亭柳雅、	半切二百枚	筆 五	人、太物雪寿
旭連 秋月庵田川、	半切八百枚	、三百枚	人、二百枚
東庵鯉水、	名茶三斤	半切三百枚	人 状袋百枚
、千寿多手寿、	半切五百枚	半紙廿帖	人 名茶弐斤

にしあなやしまたに先たちまして百人首倍し出ハ且むいまらや文繁居仕種を又此度企の趣向ハ忠臣蔵之内登美かん吟の句を以の也一席毎に画像の脇のせり出し之役数段の立帰る俳女形のたぐをやらなるハとりしなかれて一あく歴の風呂出乃入也にして登て杯数かる歴を甲乙せん仍忠臣蔵如脇より十一段目追ぶ残悉画像に仕立奉入御との覧也も希毫にのせ条せん於此はいよゝ集ハ大変三味線の座へ甲乙を仍揚る仍新星思ひとうしく御風雅千旋ある入奉希而已　旭勢連

江阿口連
泉口連
若口連
喜代口連
七重口連
沢口連
新下口連
小柳口連
鶴千口連
山水口連

九花連
常盤連
双葉連
豊歳千連
戸塚
高砂連
若松連
司馬連
云保連
柳口連

如松
居水
一ぶ
江戸庵
扇松
丈ぶ
蔭州
優見
季月
故菴

輝差
喜蒜
蜀夏
鶯松
杭和
一力
双蒜
唐屯
志山
鋭屯

千穐万歳大叶

古庵此信

序　権輔
花泉
幸京
田川
柳川
文　土懐

九月廿日限り初花庵へ進被為

校合 旭勢連中

催主 見夜梅庵

旭連 俳先春樵花亭